



2026年 2月 6日
第142号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申 第7号 首都圏本部におけるグループ会社と一体となった 団体交渉を行う！ ① 業務執行体制の深度化に関する説明申し入れ

JR東労組横浜地本は、1月26日、表題の団体交渉を行いました。本施策は2025年4月に首都圏本部から提案され、各エリアにおいて、新系列車両の機能保全および臨時修繕をグループ会社へ業務委託するという内容です。本部～本社間の労使議論を経て、「業務委託を目的としたJR社員の出向は行わない」「グループ会社社員が十分な教育を受けてから委託する」ことなどを労使確認しています。

横浜エリアでは、**鎌倉車両センター中原支所**を対象とし、E233系(南武線)、E131系(鶴見線)、E127系(南武支線)の機能保全および臨時修繕を、(株)JR東日本運輸サービス(JETS)へ業務委託する内容となっています。職場に少しずつ変化が現れてきている中、今後の労働条件・労働環境を守るために11月26日に説明申し入れを行い、交渉に至りました。会社との主な議論は次の通りです。

1. 実施日以降に中原支所に配置するJR本体の体制と担務内容について示すこと。

(回答) 詳細については、成案になりしだい示していくこととなる。

組 合	会 社
体制提案が成案になるのはいつ頃なのか。	施策実施の2～3か月前(夏頃)である。
職場形態については、「派出」になるのか	本区と中原支所を含めて体制を考えていく。派出のイメージもある。
新入社員の配置は行うのか。	基本的には本区がベター と考えている。
常時固定で残る担務はどのようなものか。 用品などはどうするのか。	臨修業務は検討中である。 用品は毎日配置する必要があるのか検討 している。
構内の体制 はどうするのか。検査計画業務はどうするのか。	運用管理などもあり、 構内副長と検修総括(S番)は残す考えだ。 検査計画の業務は割り振りを検討している。
205系は、あとどれくらい残存するのか。	向こう1～2年は変化がないと考えている。本社が計画を検討する。
中原支所独自でやっている教育の日や、技術・技能マップは引き継がれるのか。	中原支所の車両の教育はやっていく必要があると考えている。
実行計画など、現在はまだ中原支所として作っているが、変更後はどうなるのか。	本区に一体化させるかは未定である。
7月からの事業本部化に伴う体制変更はあるのか。	7/1の組織再編に伴う変更はない。
JRとJETSとで年間休日数に差があるが、どちらかに合わせていくのか。	グループ会社のことはグループ会社が決定する。JRの出勤日の中で委託業務を振っていく考えである。

2. 本施策によりJR本体で発生する担務変更や異動、および本人の希望把握の考え方について示すこと。

(回答) 異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。なお、引き続き社員の状況については、日頃のコミュニケーション等を通じて把握していく考えである。

施策に伴う異動についての考え方はどうなっているか。	任用の基準に基づく異動となる。現時点ではわからない。
夏以降、体制提案を行ってから示すのか。	人事異動は直前まで成案にならない。
「委託のための出向はない」か。	委託のための出向はない。 社員の成長のため、キャリアパスとしての出向はある。
今年度の管理者との秋の面談の中で、出向の話がされて不安を感じている。コミュニケーションについて、どのように考えているか？	今後、春の面談などもある。丁寧に話をしていく。
飲み会や喫煙所での雑談ではなく、真剣な場としてコミュニケーションをとること。	しっかり区別するよう話を伝えていく。
秋の面談で伝えた内容が、春の面談までに意思が変わるような場合は、変化した後の内容を尊重すること。	そのように考えている。
病欠中や休職中の社員は、どのような異動となるのか。	面談で把握を行っていく。

3. これまで行ってきた統括センターとの融合と連携や、営業線サポートの取り組みについて、実施日以降の担当者の考え方を示すこと。

(回答) 現時点では、関係箇所との連携は実施していく考えである。

イベントなど、統括センターとの連携では、中原支所の在勤者が行うのか。	人数体制もあるので、100%とはならないが、やっていきたい思いはある。
------------------------------------	-------------------------------------